

令和6年度「えとぴりか」一般公開

【実施報告書】



令和6年12月

独立行政法人北方領土問題対策協会

1. 事業の概要について

目的

北方四島交流等事業使用船舶「えとぴりか」を北方四島交流等事業だけではなく、国民一般に対する啓発事業に利活用し、北方四島交流等事業や北方領土問題に関する理解・関心を広げ、北方領土返還要求運動の裾野の拡大や機運の醸成を図ることを目的として実施

実施日時・場所

◎根室港琴平町岸壁

令和6年	7月20日(土)	10:00~17:00
	21日(日)	10:00~15:00

◎横浜新港ふ頭9号岸壁

令和6年	10月18日(金)	13:00~17:00
	19日(土)	10:00~17:00
	20日(日)	10:00~15:00

◎神戸港中突堤D岸壁

令和6年	10月26日(土)	10:00~17:00
	27日(日)	10:00~15:00

◎高松港玉藻地区5万トン級岸壁

令和6年	11月3日(日)	10:00~17:00
	4日(月)	10:00~15:00

※最終受付はいずれの港も終了30分前

対象者

参加条件なし（参加費用・事前登録なし）

1. 事業の概要について

実施内容

- ・船舶は離岸せず、船内に順路を設定し停泊中の船内を見学
- ・船内の順路に北方領土問題に関するパネルを展示
- ・来場者向けの参加型イベントとして、スタンプラリー及びフォトスポットを実施
- ・2階客室（203及び206号室）、2階男性浴室、4階病室、操舵室を公開
- ・食堂兼集会室に北方領土返還要求署名及びアンケートコーナーを設置
- ・記入済アンケートと引き換えにノベルティ（数に限りあり）を提供
- ・船内で北方領土元島民後継者（2世等）によるミニ語り部を実施
- ・北方領土関連資料（古写真）を船内食堂等で展示

※船内順路：

タラップを使用し3階から乗船→受付→2階（パネル展示及び客室・浴室公開）→3階を通過し4階（病室・操舵室公開）→3階（食堂兼集会室：北方領土返還要求署名・アンケートコーナー、記念品提供）→タラップから下船

来場者数

根室港… 300人（2日間計）、横浜港… 3,396人（3日間計）
神戸港… 2,538人（2日間計）、高松港… 1,628人（2日間計）
合計… 7,862人

署名数

根室港… 95件（2日間計）、横浜港… 1,133件（3日間計）
神戸港… 950件（2日間計）、高松港… 814件（2日間計）
合計… 2,992件

アンケート回答数

根室港… 235件（2日間計）、横浜港… 2,267件（3日間計）
神戸港… 1,797件（2日間計）、高松港… 1,172件（2日間計）
合計… 5,471件

4. 一般公開実施時の様子

岸壁及び受付周辺



■「えとぴりか」が接岸しているの岸壁では、周辺の歩行者に対して一般公開会場が分かりやすいよう、立て看板を配置するとともに、エリカちゃん等の着ぐるみによる誘客を行うことで、視認性を高めました。

■車両による来場が見込まれた根室港においては、駐車場スペースを用意するとともに、車両誘導スタッフを配置し、交通整理をすることで、会場周辺の安全の確保につとめました。

■また、船のタラップ下では、整列用の赤コーン等を設置するとともに、スタッフが列の最後尾を案内し、来場者に対して順番に乗船を依頼するとともに、必要に応じて岸壁の縁に安全柵や赤コーンを設置することで、来場者が海に落下することのないよう安全対策を講じました。

■受付では、スタンプラリーカード台紙に加え、今年度新たに制作した船内図面が記された「えとぴりか」紹介用リーフレットを配付し、船内見学の参考としてもらいました。

4. 一般公開実施時の様子

船内見学、啓発パネル展示の実施



- 一般公開では、船内の客室、食堂兼集会室、浴室、デッキに加え、普段入ることのできない操舵室も公開しました（写真上段）。
- 見学順路に北方領土啓発パネルを掲示し、船内を見学すると同時に北方領土問題についても効果的に学習できるようにしました（写真中段）。
- 船内見学・啓発パネル展示に加え、来場者が楽しんで北方領土問題に触れ合うことができるスタンプラリーを実施しました（写真下段）。

4. 一般公開実施時の様子

北方領土関連資料展示、元島民後継者ミニ語り部の実施



■今年度の一般公開における新たな試みとして、北方領土関連資料収集事業で集めた戦前の北方領土の風景や生活の様子を写した古写真等（複製）の船内展示を行いました（写真上段・中段）。

■併せて、北方領土元島民後継者（2世等）が15分程度で北方領土問題について語るミニ語り部を開催しました。また、元島民後継者には北方領土返還要求署名コーナーの運営等に協力いただきました（写真下段）。

4. 一般公開実施時の様子

スタンプラリー等の実施



※ノベルティ（北方領土啓発グッズ袋詰めセット）の一例



- 船の内外において船長衣装を試着しての記念撮影所（フォトスポット・写真上段）を設置した他、船内の食堂兼集会室では北方領土問題に関する応援メッセージコーナーも設けました（写真中段）。
- アンケートに回答いただいた来場者にはノベルティとして北方領土啓発グッズの袋詰めセットを提供しました。また、北方領土問題に関するSNSでの情報発信を促進する観点から、北方領土エリカちゃんSNSをフォローいただいた来場者には、北方領土返還運動原点の地・根室の特産品等を提供しました（写真下段）。

6. 一般公開を終えて

今年度の一般公開は船舶「えとぴりか」の母港である根室港、関東・関西の一大貿易港である横浜港・神戸港、そして、初寄港となる高松港の4港で実施しました。

昨年度は荒天により根室港での一般公開が実施見合わせとなりましたが、今年度は予定していた全ての港で一般公開を実施し、7,800名以上の方に「えとぴりか」に乗船いただき、昨年度同様、大変多くの方のご来場に恵まれました。

来場者からは、「貴重な体験だった」、「一般公開に参加して北方領土問題が身近な問題となった」といったご意見を頂きました。

四島交流等事業の再開が見通せない中ではありますが、交流等事業使用船舶である「えとぴりか」を、本事業等で啓発活動に利活用するなど、北方領土の返還に向けてできることを着実に積み上げてまいりたいと考えております。

